

安全データシート

1. 化学物質および会社情報

品名：フェノールコート遮熱

社名：フジ化学工業株式会社

担当：マネジメントシステム部

TEL：0776-38-8031 FAX：0776-38-8404

作成：2019年12月4日 改定：-

2. 危険有害性の要約

<GHS分類>

物理化学的危険性：いずれの項目も区分外、分類対象外、または分類できない。

健康に対する有害性：いずれの項目も区分外、分類対象外、または分類できない。

環境に対する有害性：いずれの項目も分類できない。

<ラベル要素>

絵表示：該当なし。

注意喚起語：該当なし。

危険有害性情報：該当なし。

注意書き：該当なし。

3. 組成および成分情報

化学物質または混合物の区別：混合物

成分：

発泡させたフェノール樹脂成形体に、アルミニウム粒子含有無機質充てんガラス繊維混抄紙、無機質充てんガラス繊維混抄紙を張り合わせた成形体。

化学式：(フェノール樹脂成形体) 特定できない。

CAS No.：(フェノール樹脂成形体) 特定できない。

4. 応急措置

眼に入った場合：

切削くず、粉じん等が眼に入った場合、直ちに多量の水で洗い流す。

眼に異常を感じた場合、医師の診察、手当を受ける。

吸入した場合：

粉じんや加熱等により生じたガスを吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移して安静にさせる。

気分が悪い場合、医師の診察、手当を受ける。

皮膚に付着した場合：

切削くず、粉じん等が皮膚に付着した場合、水と石けんで洗う。

かゆみや紅斑が生じた場合、医師の診察、手当を受ける。

飲み込んだ場合：

口の中をすすぐ。無理に吐き出させない。

直ちに医師に連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤：水、粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液。

特定の消火方法：指定の消火剤を用いて消火する。

消火を行う者の保護：呼吸保護具、化学品に対する保護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

回収作業では適切な保護具を着用する。

回収物を廃棄する場合は、廃棄物処理法、関係する地方自治体の条例に従い処理する。

環境に対する注意事項：

環境中に放出しない。本品が河川や湖沼等に流出した場合は必ず回収する。

回収、中和、封じ込めおよび浄化の方法、機材：

漏出した粉じん、屑等は流れを止め、安全な場所にその流れを導く。

掃き集めるなどして、回収する。

環境中に放出しないように注意する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないように適切な保護具を着用する。

保管：

高温、火気、多湿、水ぬれ、直射日光を避ける。

常温常湿の室内に保管する。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：粉じんとして

日本産業衛生学会：4mg/m³（総粉じん）

ACGIH 勧告値：10mg/m³（総粉じん）

設備対策：

切断、加工作業では、集じん装置、局所排気装置を設置する。

保護具：

防じんマスクなどの呼吸器保護具を着用する。

適切な保護眼鏡（普通眼鏡、側板付き普通眼鏡、ゴーグル等）、保護面を使用する。

長袖衣などの保護衣、保護手袋を着用する。

9. 物理的および化学的性質

形状：茶褐色固体（フェノール樹脂成形体）。

臭い：なし。

揮発性：なし。

pH：非該当。

融点：データなし。

引火点：220℃以上。

発火点：500℃以上。

密度：0.03 - 0.08 kg/m³

溶解性：水、有機溶剤に不溶。

燃焼性：難燃性（酸素指数 30 以上）。

10. 安定性および反応性

安定性、危険有害反応可能性：常温以下では安定。

避けるべき条件：水濡れ、高温多湿を避ける。

安定性：通常取り扱いで安定である。

危険有害反応可能性：粉じんは爆発性混合気を生じる場合がある。

危険有害分解生成物：強い熱、燃焼等により、一酸化炭素、 SO_2 等を発生する。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報：

製品としての情報なし。

切削くずや粉じんで物理的な刺激作用が考えられる。かゆみや紅斑が生じる場合がある。

12. 環境影響情報

製品としての有害性情報：製品としての情報はないが、環境中に流出すると影響が考えられる。

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法、関係する地方自治体の条例に従って処理する。

許可を受けた処理業者に処理委託する。

14. 輸送上の注意

注意事項：

輸送中、製品の飛散、日光による紫外線ばく露、雨などによる水濡れを避ける。

シート掛けなどの必要な措置を講じる。

バンド掛けを行う場合、製品の端部が凹まないよう保護板を介す。

製品の荷揚げ、荷下ろしでは、乱暴な取り扱いを避ける。

国連分類、国連番号：非該当。

指針番号：非該当。

15. 適用法令

労働安全衛生法：非該当

毒物および劇物取締法：非該当

消防法：非該当

化学物質管理促進法：非該当

16. その他の情報

引用文献：

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム
化学工業日報社 15307 の化学商品

本書は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで、使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質を保証するものではありません。